

(別紙)

令和 7 年 12 月 定例会議 一般質問

8 番議員 寺野 圭一郎

地域防災を支える消防団員の現状と充足策は

近年災害の激甚化や大規模地震の切迫性により地域防災力の重要性が高まる中、本町消防団は定数 108 名に対し欠員が生じており、人員の不足が深刻化している。

「消防団の組織概要等に関する調査（令和 7 年度）の結果」（令和 7 年 8 月 29 日付、総務省消防庁が発表した報道資料）によると、全国的にも消防団員数は減少傾向にあり、少子高齢化や人口減少の影響で歯止めがかからない状況である。

第六次開成町総合計画では、令和 14 年度（2032 年度）の目標人口を 20,000 人と定めており将来人口増加に伴い火災や災害リスクは今後高まることが想定される。

同総合計画の基本計画第 4 章「人のつながりでつくる安全・安心なまち」において、目標達成度を計る指標を消防団員の定員充足率としている。

消防団は災害発生時において町民の生命・財産を守る重要な役割を担っており、活動維持と人員確保は喫緊の課題であるため、現状の活動内容や課題、今後の人員充足に向けた具体的対策について問う。

- 1 消防団の現状の活動内容と直面する課題は。
- 2 人員不足解消に向けた具体的な取り組みや方策は。
- 3 将来の人口増加や火災や災害リスク増大を踏まえた消防団の体制の強化策は。